

総論・建築環境

1．風土と暮らしと建築環境

1年生後期担当の『居住環境を創る（構築篇）』の辻原担当分の講義と配付資料を参照。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/tsukuru.html/kyojyutsukuru.html>

下記の書籍なども参照のこと（順に、タイトル、編著者名、出版社、発行年月、価格（税含）、ISBN。〔〕内は熊本県立大学附属図書館所蔵情報）。

- 1) 『自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 新訂版』（彰国社編，彰国社，2000年7月，¥2,940，ISBN：4-395-11095-9）〔開架2，528.211Sh 96，000251719，0000253535〕

2．建築環境制御と建築部位

2.1 建物の性能

建物性能を目的で測る

建物は、人間活動の円滑な実行を保障する

建物は安全・衛生・快適を提供する

安全・衛生・快適を脅かす要素には自然（物理，生物）環境と人間社会環境がある

2.2 建物性能確保のための環境制御目標

2.3 物理環境制御の原則

環境制御は物理量の分布の制御

不要な物は生成させない，流入させない

生成と流入，吸収と流出があるから分布が生じる

輸送・伝搬には方向と輸送・伝搬効率がある

均一な分布は，均一な生成，流入と十分な拡散・混合により得られる

2.4 物理環境の制御方法

1年生後期担当の『居住環境を創る（構築篇）』の辻原担当分の講義と配付資料を参照。

2.5 建物部材と環境制御

日射や降雨は一方向に伝搬されてくる

屋根や壁は火の粉も防ぐ

降雨の新入は阻止するが、建物内部の熱気や湿気は放散する屋根が欲しい

透過する窓が遮断する

夏は涼しく冬は暖かく

3. 人間の生理・心理と建築環境

1年生後期担当の『居住環境を創る（構築篇）』の辻原担当分の講義と配付資料を参照。

3年生前期担当の『住環境調整工学』の辻原担当分で講義する予定。

4. 地球と都市と建築環境

3年生後期担当の『地域環境調整工学』で講義する予定。

5. 建築環境のシミュレーション

下記の書籍などを参照のこと（順に、タイトル、編著者名、出版社、発行年月、価格（税含）、ISBN。〔〕内は熊本県立大学附属図書館所蔵情報）

- 1) 『建築環境と可視化情報 実験・シミュレーション・バーチャルリアリティ』（空気調和・衛生工学会編，理工図書，1995年6月，¥7,340，ISBN：4-8446-0555-0）〔開架2，525.111Ku 28，0000217563〕
- 2) 『CFDによる建築・都市の環境設計工学』（村上周三，東京大学出版会，2000年9月，¥5,460，ISBN：4-13-062201-3）〔開架2，51911Mu 43，000245576〕